報道関係各位

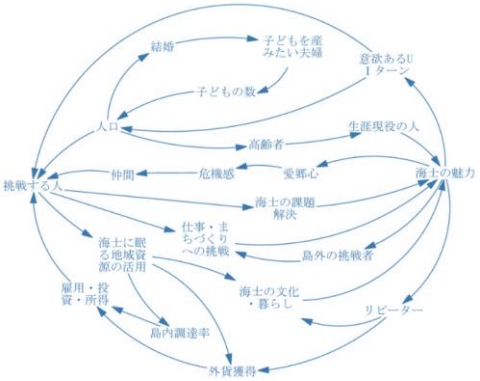
令和2年12月1日（火）

【自立×挑戦】
ふるさと納税を原資とした「海士町未来投資基金」を設置
魅力的で持続可能な島の未来のために、人づくりと仕事づくりの好循環をつくる

海士町ならびにAMAホールディングス株式会社（島根県隠岐郡海士町）は、「海士町未来投資基金」の運営を行うことを目的に、2020年12月に一般社団法人海士町未来投資委員会を設立します。同基金事業は海士町ふるさとづくり寄付条例に基づき設置され、海士町に納付されたふるさと納税の一部（年間全納付額の25～30％程度を予定）を原資とします。魅力的で持続可能な島の未来のために不可欠な事業を投資先とし、2021年度より本格始動を予定しています。

■日本の次の時代を切り拓く課題先進地の新たな挑戦

魅力・活力ある仕事や役割を創出し、若者の新たな挑戦を支援することで、人材が島に還流し続ける。このビジョンの実現に、島民や海士町を応援してくださる方々と共に挑んでいきたい。国や自治体からの補助金に依存するのではなく、応援してくださる方々から自分たちの手で資金を調達し、島の未来をつくる熱量に投資したい。そう考え、島の未来に不可欠な事業を資金・経営面から支えるために「海士町未来投資基金」を設置することを決断しました。



創生総合戦略にある住民・行政の
共創によってつくられた「ループ図」

《組織概要》
一般社団法人 海士町未来投資委員会
理事長：竹本吉輝 氏（㈱トビムシ 代表取締役）
理　事：枝廣淳子 氏（(有)イーズ 代表取締役・海士町魅力化ファシリテーター）
白井智子 氏（特定非営利活動法人 新公益連盟 代表理事）
杢山聡一郎 氏（㈱eumo取締役）
藤田諭 氏（海士町役場財政課長）
設立時社員：海士町、AMAホールディングス㈱
設立：2020年12月予定

AMAホールディングス㈱とは
観光、教育、産業、行政などそれぞれの分野の中で、より早い意志決定、より強い連携を行うため、海士町長を代表取締役として設立。海士町の「攻め」の政策を担う事業会社として、外貨獲得および町内還元のため、現在はふるさと納税事業と未来投資事業を主な事業としている。

海士町政指針
自立・挑戦・交流×継承・団結
～心ひとつに！みんなでしゃばる（引っ張る）島づくり～

海士町らしい価値観
「ないものはない」（なくてもよい、大事なことはすべてここにある）

■ 詳細のお問い合わせ窓口
海士町役場交流促進課
【℡】08514-2-0017
ご取材よろしくお願い申し上げます。